

提 案 書 要 約

- 1 事業名「プラスチック鉢に特化した不要園芸品の回収の取組」
- 2 応募者名株式会社 グリーバル
- 3 内 容

(1)目的

- ◆ 高齢化の進む地域のお悩みに寄り添う問題の解決
- ◆ 長く園芸を楽しむためのグリーンインフラ的サポート
- ◆ 継続的で無理のない、園芸プラスチックゴミの廃棄量の削減活動

(2)取組内容

- ◆ 大掃除シーズンに合わせ、プラスチックに特化した不要園芸品の回収を行う
- ◆ 東部7公園にある園芸リサイクル回収機能の更なる向上 プラスチック製品回収強化
- ◆ 夢の島公園・夢の島熱帯植物館で真冬に中古プラスチック鉢を提供するイベントを開催



▲プラスチック鉢、プランターなど、不要な資材を回収、洗浄



▲イベント時に無料提供、リサイクル推進、プラスチックの長寿命化に繋げる



(3)取組実績

- ◇2021年8月 神奈川県川崎市橘公園社会化実験で園芸リサイクル活動「植物交換会」を開催
- ◇2022年2月～東京都江東区辰巳2丁目 高齢化が進む辰巳団地にお悩み事をヒアリング
- 4月「園芸資材が捨てられない」というお悩み 辰巳団地から不要園芸資材を回収
- 5・10・11月 夢の島公園で「植物交換会」と「不要園芸資材の無料提供」を開催
- 6月 ボランティアを募り資材のメンテナンスや植替えを行った

◇2023年3月 港区、千葉、江東区など 不要園芸資材の回収を呼びかけた

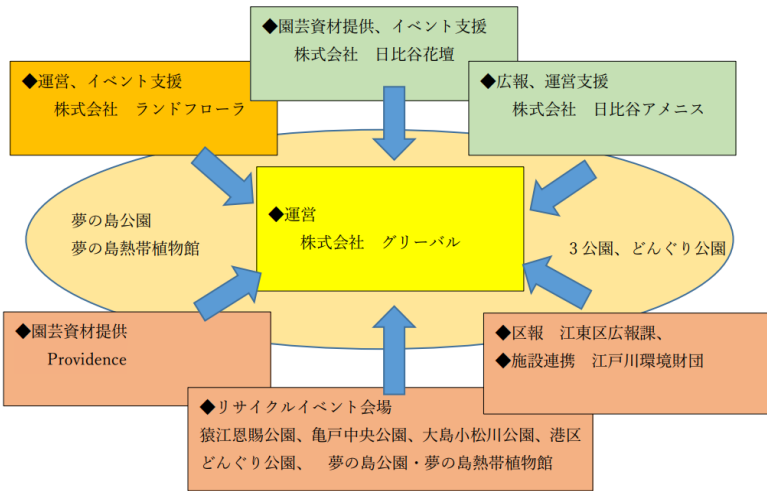
- 4・5・10月 夢の島公園で「植物交換会」と「不要園芸資材の無料提供」を開催
- 6月 ボランティアを募り資材のメンテナンスや植替えを行った

(4)期待される効果

- ◆ プラの長寿命化 園芸プラ製品は強度が高い 欲しい方に差し上げることで安易に廃棄させない
- ◆ 継続と信頼 関係する各公園による回収ルール of 宣伝 継続活動の周知
- ◆ 意識の改革 「園芸資材」に標準を合わせることで園芸ファンのリサイクル意識を深める

(5)実施体制と各社役割

- ・「グリーバル」が運営主体
- ・「日比谷花壇、日比谷アメニス、ランドフローラ」の3社と協働で資材回収、運営、広報を共に行う。
- ・「Providence」から資材協力
- ・リサイクルイベント会場に「猿江恩賜公園、亀戸中央公園、大島小松川公園、どんぐり公園」
- ・区報で告知・江戸川環境財団が資材提供、協力



(6)実施計画

11月	12月	1月	2月	3月
・各公園との調整	・区報告知	・物品整え	・提示物、SNS告知	・報告書提出
・江戸川環境財団提供	・会場設置		・冬期物品提供	
・港区公園協力	・プラ鉢の回収		実験イベント	
	・回収物分配		・検証	
江戸川区・港区公園	東部7公園		夢の島熱帯植物館	

◇11月連携施設と協働イベント。
◇12月プラ資材回収。回収物は3公園と夢の島公園で分け、今後のリサイクルイベントで活用。
◇2月実験イベント。園芸リサイクルの冬の需要を検証。